

名護市長選挙

1月28日告示

2月4日投票



名護と沖縄の未来を決める選挙 力を合わせ勝ち抜こう!

子どもの夢 未来 紡ぐ名護のまち 必ずやります 稲嶺ススム 3期の公約

8日、大北区公民館で稲嶺ススム市長が3期目に向けた新政策を発表しました。「私は、辺野古の海にも陸にも新しい基地は造らせないことを全面に打ち出し、相手候補との違いを鮮明に、名護市民に対してこの問題に終止符を打つ、名護市民の審判を問う選挙にしたい。名護の未来は名護市民が決める、その思いで本日の政策発表の場を設けたところでございます」と、7つの基本政策を訴えました。



- 1, 県内トップの子育て環境をさらに充実させます
- 2, 基幹病院の設置で安心の医療と福祉を提供します
- 3, 文化・スポーツ振興で元気なまちをつくります
- 4, 大胆な地場産業で、力強く地域経済を発展させます
- 5, もっと安全に、もっと便利に、くらしやすいまちにします
- 6, これからの50年を見据えたまちづくり
- 7, 辺野古新基地に終止符を打つ!
名護の未来は私たちが決める!

稲嶺市長から、一番要請を受けましたのは県立北部病院と北部医師会の病院の基幹病院をつくってほしいという話をよくされました。

沖縄県としましても、北部全体の問題でありますので、決意をしっかりと前を進めていきたいと思えます。



翁長知事がススム応援で街頭から訴え

稲嶺ススム市長が誕生してから、前市政より予算が287億円から382億円へと、はるかに大きくなっており、建設事業費も89億円も増えており、その額は那覇市に次いで2番目となっています。

失業率は12.5%から、5.1%に。県の市町村の中でも有数の街づくりをしているススム市政と、とどもに頑張っていきます。

沖縄の公明党が新基地建設に、一貫して反対してきたことに敬意を表しています。その思いを最後まで貫き、新基地阻止のためにともに頑張ってください。 (記者団の質問から・稲嶺ススム)

意見交換 稲嶺市長

稲嶺市長と各政党の代表者との意見交換の様子。稲嶺市長は、新基地建設に反対する立場を表明し、各政党の代表者は、それぞれ異なる立場を表明した。

| | | |
|---------|--------|--------|
| 名護市議会議員 | 宮城 安 | 岸本 直也 |
| 候補者代表 | 宮城 弘 | 長山 南 |
| | 宮城 さゆり | 宮城 尚 |
| | 比嘉 文 | 渡具知 武豊 |
| | 比嘉 拓也 | 吉元 謙彦 |
| | 金城 | |

2015年11月6日

相手候補は 新基地推進の代表格

「産経新聞」(2017年9月14日)

相手候補は、山口県の岩国基地でオスプレイに乗って「安全」と宣言。普天間飛行場の代替施設(新基地)建設の早期実現を求める陳情を、全国の市議会に出した人です。こんな人に市民のくらしと未来は託せません。

稲嶺ススム

後援会ニュース 2018.1.8 NO.4

☎0980-43-6588 FAX:0980-43-5988

【メール】 ssm-koen@mco.ne.jp

〒905-0015 〒905-0012 名護市名護2494 (部内資料)



稲嶺ススム必勝

公約を守り、信念を貫く。誠実な人柄と確かな実績!

総決起大会

■1月23日(月)午後6時30分~ ■21世紀の森屋内ドーム

